

## アジア地域におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)達成 のための社会保険制度強化

Social Security System Strengthening toward Universal Health Coverage in Asia

(2015年11月9日～11月20日:うち国立保健医療科学院実施日:11月12日、  
11月17日～18日、11月20日)

### 1. 本研修の概要

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)とは「すべての人々が基礎的な保健医療サービスを、必要な時に、負担可能な費用で享受できる状態」と定義され、医療保険等の財政のみならず、医療機関や機械の整備、医療従事者などのマンパワー確保、そして健康や医療に対する社会慣習というものも含む総合的な概念(WHO)です。

### 2. 実施方法

UHCは2015年9月国連総会で採択された[持続可能な開発目標\(SDG\)](#)でも重視されており、わが国の[平和と健康のための基本方針](#)でも「生涯を通じたUHCの実現」が目標とされています。

国立保健医療科学院は国際協力事業団(JICA)と連携して「アジア地域におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のための社会保険制度強化」研修を2013年度より実施してきました。

本研修は、ASEAN諸国のUHC達成を支援するため、各国の将来の医療政策のリーダーとなる政府職員を対象に2週間にわたって医療機関、自治体そして国民健康保険や介護保険の運営を見学も含めて体得させるものです。

### 3. 参加者

参加者は、インドネシア(2名)、カンボジア(1名)、スリランカ(2名)、タイ(2名)、  
バングラデシュ(1名)、フィリピン(2名)、ベトナム(2名)、ミャンマー(2名)、ラオス  
(2名)の9か国でした。 【於:本院 第一会議室】



4. 活動状況

1) 2015年度においては2週間にわたり、小鹿野町及び山梨県国民健康保険団体連合会への訪問も含むカリキュラムで実施されました。

アジア地域におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のための社会保険制度強化			
日	曜	AM(10:00-12:30)	PM(13:30-16:00)
2015/11/9	月	JICAフリーフィング	・オリエンテーション・研修のわらい(UHC普及へのWHO戦略を含む)【岡本】
2015/11/10	火	日本の医療供給体制【岡本】	日本の医療保険制度【厚労省保険局】
2015/11/11	水	診療報酬点数表、DPC包括払い等【岡本】	医療機関の診療報酬事務【岡本】 医療機関における医事業務視察【クロス病院】
2015/11/12	木	日本の公衆衛生・へき地医療体制【曾根】	日本の保険医療制度の課題(財源確保、財政的持続性等)【岡本】 UHC運用に必要な情報(IT)基盤【水島】
2015/11/13	金	日本における皆保険制度実現の要因【GRIPS星田】	各国における皆保険制度実現に必要な要因(AMOの講義を踏まえ、自国の状況に関するディスカッション)【岡本】
2015/11/16	月	自治体の活動視察(地域包括・保険業務等)【小鹿町】	医療の質に対する取り組み・地域連携事例の視察【小鹿野病院、関口院長】
2015/11/17	火	日本の病院における医療の質の管理【種田】	医療技術と医薬品の経済評価【富田】
2015/11/18	水	UHC実現に向けた戦略【JICA・中村専門員/本部職員】	UHC実現に向けた戦略【熊川】
2015/11/19	木	山梨県国民健康保険団体連合会までのバス移動時間	レセプト審査の現場【山梨県国民健康保険団体連合会】
2015/11/20	金	アクションプランの発表【岡本・富田・曾根・熊川・本省・JICA】	アクションプランの発表(続き)【岡本・富田・曾根・熊川・本省・JICA】

2)3年間にわたり下記のように計37名が修了し各国においてUHC実現と向上のため活躍しています。

「アジア地域におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のための社会保険制度強化」研修参加者一覧			
	2013年度(10名)	2014年度(11名)	2015年度(16名)
バンラデシュ	保健・家族福祉省医療課課長	保健・家族福祉省医療課課長補佐	保健・家族福祉省保健財政課研究担当課長
カンボジア	国民福祉担当調整省課課長補佐	保健省計画・情報局局長補佐	保健省保健計画・情報局長
インドネシア	国家開発企画庁企画指導担当官	財務省予算政策センター非税政策部長	財務省中央政府予算局政策立案官
ラオス	保健省国民皆保険局副局長	保健省国民健康保険局非雇用者保険部副部長	健康保険公社支部長
ミャンマー	労働福祉省科学研究所副所長	保健省国民健康保険局長補佐	州保健省健康保険局長
	労働・雇用・社会保障省社会保障部医療課副課長	労働・雇用・社会保障省社会保障部医療課課長補佐	全国社会保障基金広報部副部長
フィリピン	健康保険公社企業マーケティング部長	保健省保健計画部保健情報課長	労働・雇用・社会保障省社会保障部長
		健康保険公社非雇用者保険部長	保健省医療部副部長
スリランカ	保健省国際保健医療部長	保健省クルネーガラ県保健局長	社会保障機構傷病・出産・障害給付管理担当官
	保健省企画部医官	保健省モナラーガラ県保健部医官	健康保険公社企業連結調整部上級監理官
タイ	国民医療保険省地方局長	国民医療保険省チェンマイ地方局副局長	保健省管理・開発・計画局副局長
			保健省モナラーガラ県保健部長
ベトナム			国民医療保険省ソクトラ地方局副局長
			公衆衛生省大臣官房医療保険グループ長
			社会保障省国際協力課長
			保健省計画・財政局長

3) 小鹿野町の訪問研修では、地元の皆様より温かい歓迎をいただいた他メディア等でも報道されました。

【埼玉新聞 2015年11月24日付け】

アジア9国から病院など視察  
小鹿野 JICA研修で  
アジア9カ国の行政官10人が、小鹿野町の町立小鹿野中  
央病院や町保健福祉センター  
を視察し、保険制度や地域包  
括ケアシステムを学んだ。  
アジア各国では、保険制度  
が整備されておらず、国民が  
平等に治療を受けられない国  
も多い。国民が最低限の医療  
を過度の負担なく受けられる  
ユニバーサル・ヘルス・カ  
バレッジの制度整備が求め  
られている。

視察は国際協力機構(JICA)による研修で、カンボジアやインドネシアなどの9カ国から保険制度構築に関わる課長級職が参加。参加者たちは現場を見て回り、病院の診療請求や町の保険料徴収の仕組みなどについて理解を深めた。保健・福祉・医療が一体となった地域包括ケアシステムの説明を受け、メモを取りながら熱心に聞き入っていた。(桜井和恵)

【東京新聞 2015年11月17日付け】

アジア各国の職員「国民皆保険」学び  
小鹿野で研修会  
アジア各国で保険政策に関わる職員らが日本の国民皆保険制度を学ぶ研修会が16日、小鹿野町であった。アジアの職員らが町役場や病院の担当者らと熱心に耳を傾けていた。写真  
全ての国民が最低限の医療を大きな負担なく受けられる皆保険制度の利点を知らせてもらおうと、国際協力機構(JICA)が実施した。バンラデシュ、カンボジア、インドネシア、ミャンマーなどアジア9カ国の16人が参加。町立小鹿野中央病院や町役場を回り、医療サービスを提供する仕組みや国民健康保険料の徴収方法などの説明を受けた。病院の担当者らに細かく疑問を投げ掛け、日本の医療や行政に理解を深めていた。(出来田敬司)